



# AAR

## (米軍機(MV-22)墜落に係る災害派遣)

28. 12. 14(水)



# 項目

- 1 全般
  - (1) 全般時系列
  - (2) 活動概要
- 2 改善及び検討事項
- 3 各部長等総括
- 4 指導事項



# 全 般

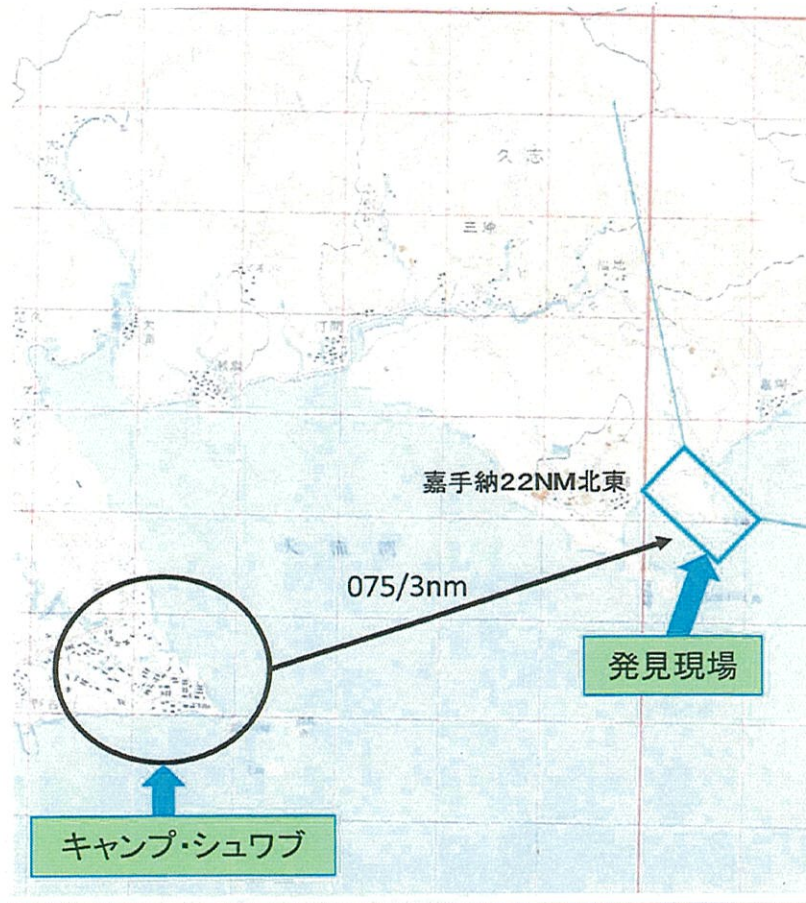


# 全般時系列

月		12月			
日		13(火)	14(水)		
時		21	22	23	00
全般		<ul style="list-style-type: none"> <li>●2125頃 メーデーコールが与座岳レーダーサイトに入感 (南混)</li> <li>●2130頃 嘉手納基地から北東22NMに海兵隊MV22(搭乗員5名)がレーダー画面から消失したとの情報</li> <li>●2230頃 南混DCLレーダーロスト位置2632N12807E(南混) (南混)</li> <li>●2258頃 [REDACTED] (総隊入手米軍情報)</li> <li>2323 那覇RWYCLOSE ● ●2344頃 那覇RWYOPEN</li> </ul>			
8救区		<p>●2239 8救区発令 → ●0016 終結</p> <p>05 ← [REDACTED] → ●58 [REDACTED] 16</p> <p>17 ← [REDACTED] → ●58 [REDACTED] 14</p> <p>●40 那覇RQ指揮所開設</p>			
米軍		[REDACTED]			
救難団	司令部	[REDACTED]			→



# 活動概要



全要救助者收容完了:12.13 [REDACTED] (i)

事故内容	所属:米海兵隊(普天間) コールサイン:[REDACTED] (乗員:5名) 機種:MV-22 事故内容:不明 発生時刻:12.13 2125頃 場所:嘉手納飛行場から22マイル北東
航空救難発令日時 災害派遣発令日時	第8救難区域指揮官(南混団司令) 12.13 2239(i)
レーダーロスト位置 (推定)	2632N 12807E
要救助者收容位置	[REDACTED]
派遣部隊等、規模 (延べ)	空自航空機 2機 ( [REDACTED] : 1機 [REDACTED] : 1機 ) [REDACTED]
終結、撤収日時	第8救難区域救難終結:12.14 0016(i) 災害派遣撤収12.14 0016(i)

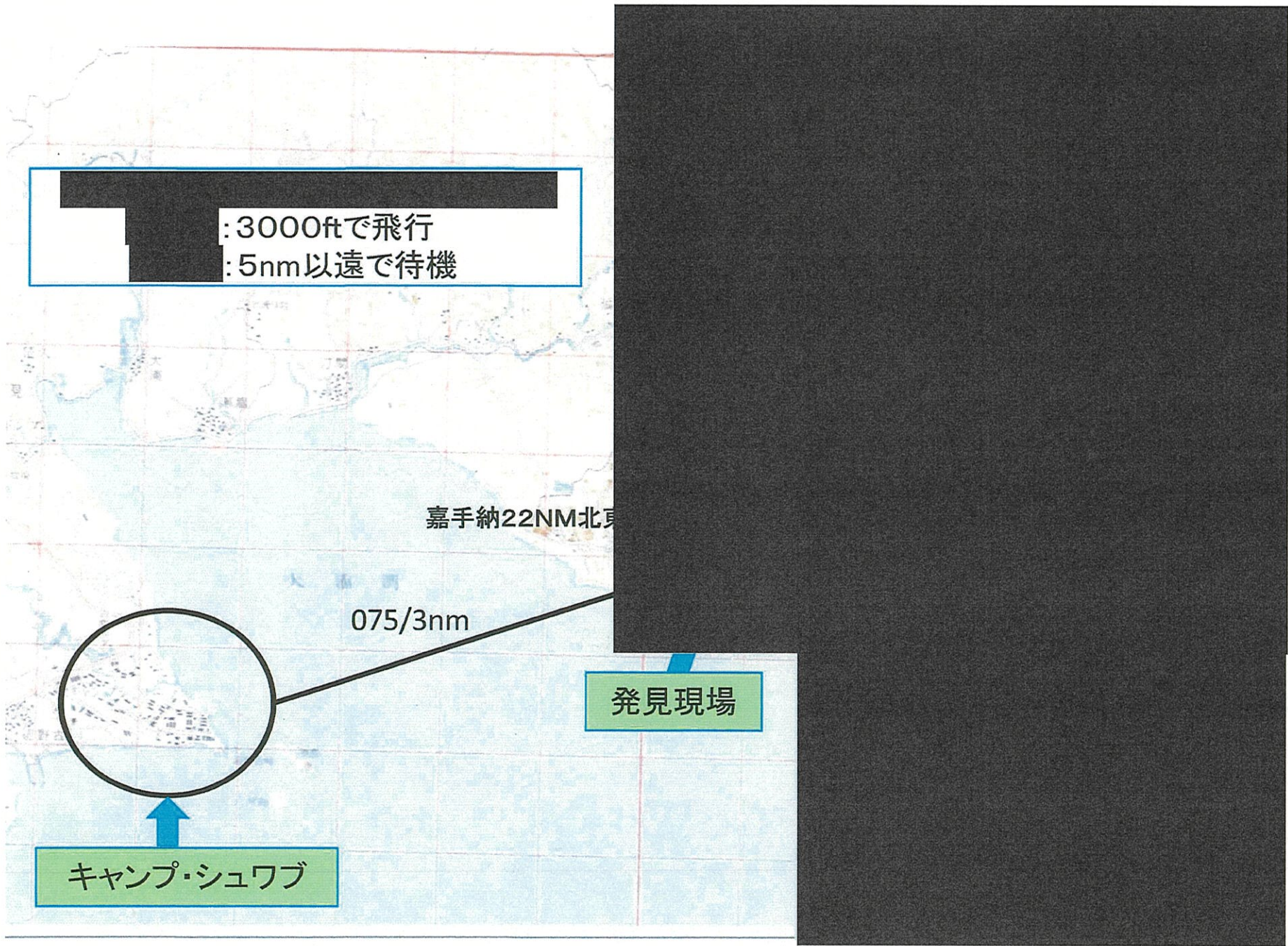
[Redacted]  
: 3000ftで飛行  
: 5nm以遠で待機

嘉手納22NM北東

075/3nm

発見現場

キャンプ・シュワブ





# 改善及び検討事項






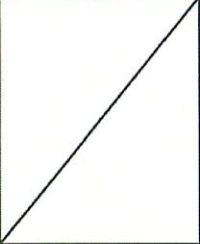

# 改善及び検討事項

不具合事項等	対策等
航空救難事態(発進濃厚)については、団司令への連絡はメールでなく、直接電話による。	迷ったら、躊躇せず電話する。(指揮所長の指示を仰ぐ。)
米軍人を收容する機体の優先順位(原則は、最初に到着した救助機。ただし、米軍等の意向を確認する。)	米軍の意向を確認する。
飛行高度帯、待機場所等の情報を現場において確認した。	・南混団経由で早期情報収集する。 (米軍人を捜索救助する際は、米軍側からの統制事項についても確認する。)





## 指揮所運用に関する事項(2/2)

不具合事項等	対策等	処置	担当
			防衛
Wxブリーフィングの準備、増強要員の宿泊調整、司令部仮眠所の設置について、迅速に対応できた。	・なし		監理
対処が長期化した場合の仮眠所(簡易ベッド及び毛布)について	・利用者のニーズ等に合わせ、場所や貸し出しについて臨機に対応する。		監理

 未処置     処置中     処置完了・継続処置



# 上級司令部、関係機関等 との調整に関する事項

不具合事項等	対策等	処置	担当
増強要員の宿泊調整については、新田原基地外来（課業時間外は基群当直）に一報を入れた後、逐次各差出部隊から調整を実施し、速やかに宿泊等を確保することができた。	・なし		監理
・西空の [ ] であり、処理能力に限界がある。	・救難団、隊において処置可能な事項を明確にし調整を行う。 ・ [ ] の増強		飛行群

未処置    処置中    処置完了・継続処置



# 隷下部隊との連携、調整に関する事項

不具合事項等	対策等	処置	担当
練成訓練制限に対し、司令部内及び部隊周知が徹底されていなかった。	・ ████████ による同時全部隊徹底ホワイトボード等を活用し、██████ 内での共有		防衛
増強先部隊への整備員の増強について、比較的円滑に実施できた。	・ 航空機の展開、増強を前提とした関係部隊との先行的な調整を実施する。		装備
当初、現場統制機及び要領が不明確であった。	・ 救難団の航空機内で現場統制機を決める。		飛行群



未処置



処置中



処置完了・継続処置



## その他

不具合事項等	対策等	処置	担当
搭乗員の飛行時間について把握したが、活用方法及び把握範囲等について検討を要す。	複数回試行して不具合の是正を図る。		人事
クルーレストに関して ・活動開始時においては航空機、クルーを増強し、環境を整えるまで基準の適用は難しい。 ・任務所要とクルーレストの方針を示す必要がある。 ・司令部で全てを掌握は困難 ・基準が実情とそぐわない点があった。	・適用時期については環境を整えた後とし別示する。 ・方針を検討し、通達等により部隊に示す。 ・実運航のデータを参照し、基準を逐次見直す。 ・今後は <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 使用時の基準も考慮する必要がある。		安全



未処置



処置中



処置完了・継続処置



# 各部長等所見



# 指導事項